



【iPadのプロになる研修】

横浜市教育委員会と連携し、校内でこれまで活用していなかったiPadの機能を中心とした研修を実施
授業内での活用事例なども紹介いただいた



研修

iPadの発展的操作について

目的：機能を把握することで、より良い授業を構築する



研修を企画した先生のコメント

先生方の「やってみたいな」という思いを「どう実施すればいい」へと考えを変えたり、「ICT機器をどのように使って子どもの学びを伸ばしてゆかか?」といった部分のきっかけを感じてもらいたかった。
今後も「ICTで新たな授業を作っていく」という思いで学校全体で動いていきたい。

《研修の流れ》

1 連絡先の共有

連絡先をiPadに保存することで、教員間の混みにケーション・情報共有を活性化

2 ミー文字の作成と活用

ミー文字で自身の似顔絵を作成。ミー文字のステッカー機能を使って、児童の作成物にリアクション

3 Clipsで動画撮影

自動字幕機能などを使って、授業用動画の作成。活用として漢字の書き順などへの利用の発案

4 keynote

グラフや図形の挿入に際して、Live Video機能を活用しての画像挿入などを実施。「ミリーの素敵なおぼうし」などの活用事例紹介

